

(19)日本国特許庁 (J P)

(12) 公 開 特 許 公 報 (A)

(11)特許出願公開番号

特開平7-275213

(43)公開日 平成7年(1995)10月24日

(51)IntCl.⁶

A 6 1 B 5/022

識別記号

庁内整理番号

F I

技術表示箇所

7638-4C

A 6 1 B 5/ 02

3 3 5 Z

審査請求 未請求 請求項の数1 F D (全 3 頁)

(21)出願番号 特願平7-28905

(22)出願日 平成7年(1995)1月26日

(31)優先権主張番号 1 8 8 9 7 1

(32)優先日 1994年1月28日

(33)優先権主張国 米国 (U S)

(71)出願人 591008720

クリティコン・インコーポレイテッド
CRITIKON, INCORPORAT
ED

アメリカ合衆国、33634 フロリダ州、
タムパ、ジョージ・ロード 4110

(72)発明者 ビータ・ジェイ・アブス

アメリカ合衆国、33556 フロリダ州、オ
デッサ、アーミステッド・レーン 16010

(72)発明者 メイナード・ラムジー

アメリカ合衆国、33629 フロリダ州、タ
ンパ、ガルフビュー・ストリート 903

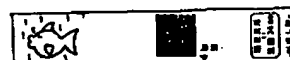
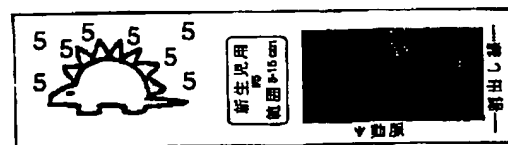
(74)代理人 弁理士 田澤 博昭 (外1名)

(54)【発明の名称】 大きさを図柄で識別する血圧計カフシステム

(57)【要約】

【目的】 本発明は、特に新生児用に、大きさの異なる一連のカフを容易に識別できる血圧計カフシステムを提供することを目的とする。

【構成】 本発明に係る一連の血圧計カフは、二つのサイズ表示子を有する。このうち第1のサイズ表示子は、好ましくはカフの大きさを一番小さいものから一番大きいものまで番号付けする一連の数字がよい。第2のサイズ表示子は、大きさを増していく各カフにあって対応して大きさを増していく動物の図柄である。例えば、一番小さいものから一番大きいものまで五つの大きさに分けられたカフにあっては、それぞれ金魚、ウサギ、アヒル、犬および恐竜の図柄を描く。



BEST AVAILABLE COPY

1

【特許請求の範囲】

【請求項1】 所定の既知の大きさを有する一連の血圧計カフスであって、少なくとも膨脹・収縮用の穴を有する膨脹可能な空気袋と、

このカフスを患者の外肢の周りに巻き付けて取り付けるための取付け手段と、

連続的な表示を行う第1のサイズ表示子と、カフス上にある異なった大きさの対象物を表す所定の図柄によって大きさを表示する第2のサイズ表示子の少なくとも二つのサイズ表示子を有する血圧計カフス。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【産業上の利用分野】本発明は、非侵襲の血圧測定に用いる血圧計カフスに係り、特にこのような血圧計カフスのためのサイズ識別システムに関する。

【0002】

【従来の技術】カフス形状にした膨脹可能な空気袋は血圧（収縮期血圧と拡張期血圧）測定において広く用いられているが、カフスの大きさは血圧の測定に必然的に影響するため、適当な大きさのカフスを用いなければならない。

【0003】例えば、「血圧計カフス」と銘打った米国特許第3,765,405号は、血圧測定に用いられる段階的に大きさの異なる一連のカフスを開示している。各カフスは、特定の大きさの外肢に用いられ、互いに異なる色によって識別される。

【0004】

【発明が解決しようとする課題】本発明は、特に新生児用に、カフスの大きさを示す図柄を有する血圧計カフスシステムを提供することを目的とする。

【0005】

【課題を解決するための手段および作用】本発明のカフスシステムにおいては、カフスの大きさを示す番号付けに加えて、カフスに図柄もしくは絵を印刷する。このシステムにおける各カフスは、そのような図柄の大きさに対応する大きさになっている。例えば、図柄は、金魚、ウサギ、アヒル、犬および恐竜の五つの大きさにする。こうすることによって、単に図柄の大きさから、容易にその図柄を付けたカフスの大きさを識別できるようになる。

【0006】

【実施例】本発明の血圧計カフスは、特に新生児向けの大きさを有し、患者の外肢に巻き付けてフックループ型のファスナで自身に止めるようにした柔らかい膨脹可能な空気袋を備える。空気袋は、通常二つの穴、膨脹用の穴とトランスデューサ（変換器）連結用の穴を有する。すなわち、第1の穴は、血圧測定時のカフスの膨脹・収縮に用いられ、第2の穴は、空気袋内の圧力を表示するトランスデューサもしくは適当な圧力装置に連結するのに用いられる。

2

【0007】本発明のカフスには、漸次増加する番号によるサイズ表示子を印刷する。例えば代表的なカフス5個のシステムにおいては、この番号は、最も小さい1から最も大きい5までを割り振る。

【0008】本発明においては、上述の番号によるカフスサイズの表示に加えて、動物の漫画等の概念上相対的に大きさの異なる図柄によってもカフスの大きさを表示する。すなわち、カフス上に図柄で示される対象物の相対的な概念上の大きさが、システムの他のカフスに対する大きさを示すわけである。図の代表的な例に示したように、一番小さいカフスには、このシステムに用いる図柄の動物の中で一番小さい動物である金魚の図柄を用いる。二番目に小さなカフスには、システムの図柄の中で金魚の次に大きく、しかも三番目に小さなカフス用のアヒルよりは小さいウサギの図柄を用いる。そしてアヒルの図柄を用いるカフスは、今度は、犬を図柄に用いる次の大きさのカフスよりも小さい。そして、犬の図柄を用いたカフスは、この新生児用カフスシステムの図柄において最も大きな動物である恐竜の図柄を用いたカフスよりも小さい。これらの図柄は、カフスの大きさを示す先の番号のすぐ隣に表示する。こうして、離れた場所からでも、この図柄によってカフスの大きさを即時に識別することができ、さらに必要ならば、カフス上の番号によってこれを確認することができる。

【0009】カフスは、今日業界で知られているいかなる方法によっても製造することができる。しかし、特にその外表面は、例えば転写やステンシルによる図柄の表示が可能なるものでなければならない。図柄・漫画は、対象となるカフスの大きさを、システム内の他のカフスの大きさに比して即時に識別できるものにすべきである。

【0010】本発明の具体的な実施態様は以下の通りである。

1) 前記第2のサイズ表示子は一連の動物の図柄であり、描かれる動物は、一連の血圧計カフスの中であってカフスの大きさが増大するにつれて、概念上その大きさが増大するものである請求項1記載の血圧計カフス。

2) 前記第1のサイズ表示子は、血圧計カフスの連続的な数字である上記実施態様1)記載の血圧計カフス。

3) 前記第1のサイズ表示子は、アラビア数字からとった連続的なレタリングで表示される上記実施態様1)記載の血圧計カフス。

4) 前記第2のサイズ表示子として描かれる動物は、ウサギ、鳥および恐竜を含む上記実施態様1)記載の血圧計カフス。

5) 前記連続的な数字には、各カフスでそれぞれ異なる着色が施される上記実施態様2)記載の血圧計カフス。

【0011】

【発明の効果】以上説明したように、本発明によれば、特に新生児用に、カフスの大きさを容易に識別できる図柄を有する血圧計カフスシステムが提供される。

(3)

特開平7-275213

3

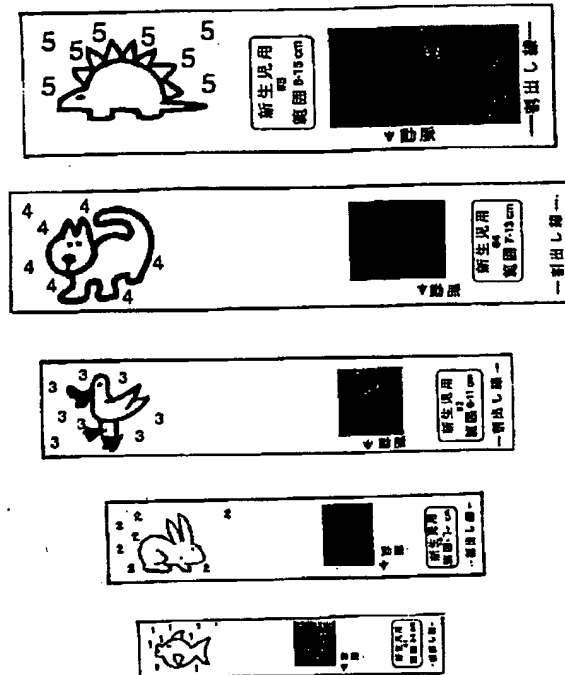
4

【図面の簡単な説明】

を有する一連の血圧計カフスを配列した図。

【図1】 本発明に係る数字および図柄の両サイズ表示子

【図1】



BEST AVAILABLE COPY